

# ブランディングのプロが天理市を改革中!

## 「天理ブランド構築支援事業モノづくりセミナー」とは?

⇒ 街を本気でブランディングする3名のトップランナーが集結



ブランディング  
プロデューサー

**graf**  
服部滋樹氏  
1970年大阪府生まれ。1998年に友人たちとデザイン集団grafを立ち上げ、以来、クリエイティブディレクター&デザイナーとして活躍するほか、地域再生にも取り組む



サポーター  
くるみの木  
石村由起子氏

奈良市郊外に1984年「くるみの木」を、2004年には「秋篠の森」をオープン。ショップを起点に、日本の魅力、地域の力を伝え続けている



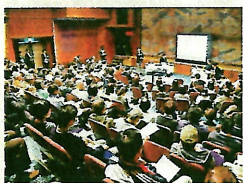
サポーター  
中川政七商店  
中川淳氏

京都大学卒業。富士通勤務を経て2002年に家業の中川政七商店に入社。13代社長に就任し「日本の工芸を元気にする!」を合言葉に各地で活躍

**天** 理市の未来をよくする。その思いをカタチにするべく「天理ブランド構築支援事業モノづくりセミナー」が始動した。天理市長の並河健氏及び天理市が、本プロジェクトのブランディングプロデューサーに指名したのが、デザイン集団graf代表の服部滋樹氏。日本各地で地域の特色を生かした「つくる」を伝える活動に奔走する服部氏。地域の人々とともに天理の魅力を再発見しながら、リサーチからアウトプットまでを一環して行うこの取り組みは、2016年度より本格的に実働に移る。「暮らしているとあたりまえ」になってしまおうような

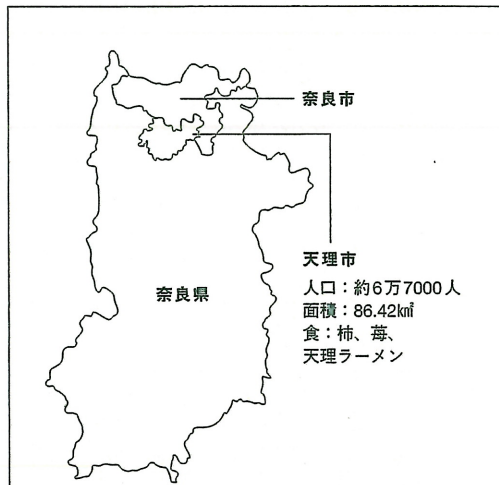
ことこそが、天理が世界に誇る魅力になる。山の辺の道や食、地域の皆さんの想い……足元にあるものには気づきにくいもの。かかとをしつかり地につけてものごとを考え、土地を眺めてみればきっと、新しい未来が開けるはずだと服部氏。天理という土地に根づいた生活や文化、歴史や伝統など、街の魅力を生かした個々の取り組みを「メイドイン天理」として、どうつくり、伝えるか? 春からは街を特徴づける商品の開発を支援する「モノづくり支援事業」が企画されているという。服部氏と天理市の取り組みに、乞うご期待!

### プロジェクトへの熱い想いを語り合いました



2015年11月、服部氏の呼びかけで石村氏(くるみの木)、中川氏(中川政七商店)が集結。奈良にゆかりが深いトップランナー3人が「天理は日本一綺麗な街」「丁寧な暮らしがある。それをいつ、誰に発信していくかが大事」など熱く語り合った

### 奈良県天理市ってどんなところ?



天理市  
人口: 約6万7000人  
面積: 86.42km<sup>2</sup>  
食: 柿、苺、天理ラーメン



現在検討中のイメージ

佐藤オオキ氏が駅前のデザインを手掛けています  
街の中心でもある天理駅前の広場をリノベーションし、周辺に新たな賑わいを生み出す地域活性化事業も進行中。2017年4月に完成予定の「古墳」に着想を得たデザイン空間。天理市が誇る産業や歴史、文化を発信する

本件へのお問い合わせ  
天理市産業振興課  
Tel: 0743-63-1001 Fax: 0743-62-2880